

令和3年度第1回 逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議の概要

【日時】 2021年（令和3年）8月5日（木）10:00～12:00

【場所】 逗子市役所5階第4会議室

【出席者（敬称略）】

＜メンバー＞福井座長、水口副座長、田中メンバー、松田メンバー、三宅メンバー、小林メンバー、島メンバー、古畑メンバー、高松メンバー、下境メンバー、尾前メンバー、岩佐メンバー、須藤メンバー、村松メンバー

＜アドバイザー＞出石アドバイザー

【欠席者】 石井メンバー

【事務局】 福本担当部長、仁科参事、四宮係長、山口主任（記録）

【傍聴者】 なし

【資料】 次第

逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議メンバー名簿

令和3年度逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議スケジュール

資料1 令和2年度逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（基本目標）の進捗状況表

資料2 令和2年度地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告

参考1 令和2年度逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（具体的施策）の進捗状況表

参考2 令和2年度逗子市人口データ集

参考3 令和2年度逗子のまちづくりに関するアンケート調査集計結果

参考4 まち・ひと・しごと創生基本方針2021

1 開会

2 メンバーについて

○事務局から会議メンバーの交代を報告した。

- ・湘南信用金庫のメンバーが、平松メンバーから高松メンバーに交代した。
- ・NPO法人ファザーリング・ジャパン理事の東メンバーが辞退された。

3 スケジュールの確認

○「令和3年度逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議スケジュール」をもとにスケジュールの確認を行った。

4 令和2年度実施事業に関する効果検証について【意見交換】

(1) 逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

○参考2をもとに逗子市の人口について、事務局が説明した。

○参考1を参考にしながら、資料1について、総合戦略の基本目標ごとに全体で意見交換を行った。

○次のような意見交換が行われた。

◆全体

(田中メンバー) 国のまち・ひと・しごと創生基本方針2021は新型コロナウイルス感染症の影響に鑑みて、方針について修正を行っている。市も総合戦略に反映させることを考えてはどうか。

(島メンバー) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントの中止や海水浴場を開設しなかったことなどを踏まえると、今までと同様の取り組みでは難しいと考えており、アフターコロナを見据えた上で今後の取り組みを進めてもらいたい。

(島メンバー) 対面やイベントなどでの魅力発信だけでなく、WEBや別の手段を用いた情報発信を取り入れるべき。

(出石アドバイザー) がけ崩れについて逗子インターチェンジが未だに復旧していないことを受けて、土地利用の考え方は重要だが、安全安心なまち、災害に強いまちという観点も重要と考えている。

◆基本目標1

特になし

◆基本目標2

特になし

◆基本目標3

特になし

◆基本目標4

特になし

(2) 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告について

○資料2について、事務局が説明した。

○次のような意見交換が行われた。

(島メンバー) 横須賀市が音楽イベントをWEBで開催し、視聴者数を参加者としてカウントしたと聞き、新しいと感じた。こういった方法を見習うのはいいと思う。

(岩佐メンバー) 昨年、逗子でもアートフェスティバルを開催したが、その中の「みんなでアート」という企画は収録して YouTube で公開したところ、約 1,200 人の視聴があった。例年の 6 倍にもあたる。市としても試行錯誤しながら取り組みを進めていきたいと思う。

○本件(資料2の内容)について、了解された。

5 地方創生に関する取り組みについて【意見交換】

(1) 市の取り組みについて

○地方創生推進交付金関係について、令和3年度の対象事業について事務局から報告を行った。

○企業版ふるさと納税について、令和2年度の寄附実績報告及び令和3年度の寄附対象事業の説明と企業版ふるさと納税の制度説明を行った。また、次のような意見交換が行われた。

(島メンバー) 当社の場合、基本的に企業版ふるさと納税を寄附するよりも関係自治体と一緒に事業を取り組んでいく姿勢で臨んでいる。

(出石アドバイザー) 企業版ふるさと納税という手法では法人税の取り合いになってしまうため、島メンバーが述べたような官民連携も含め、4市1町など広域的に取り組むようにしないと地方創生の効果は出にくいと思う。

○ワーケーションの推進について、令和2年度の実施事業及び令和3年度の実施予定事業について事務局から報告を行った。また、次のような意見交換が行われた。

(田中メンバー) ワーケーション施設として、空き家の活用をすることを検討すべき。

(松田メンバー) 法人向けのワーケーション施設「ON/OFFice ZUSHI」の利用状況はどうなっているか。また、法人としてワーケーションを実施していくのは重たいとも感じている。個人の方が需要は多いと思う。逗子在住で、東京で働く人が在宅勤務となった時に行き場がないことも感じており、逗子のワークスペースにドロップインできるところが少ないため、そういった個人に対しての活用を期待したい。都内から逗子に来る人と逗子に住む人との交流があってもいいのではないかなと思う。

(事務局) 個人向けのワークスペースを運営している民間事業者を圧迫させないため、実証実験は法人を対象としている。ただ、緊急事態宣言時などに市民に対して一時的に開放した際は、個人の利用が多くあった。実証実験については、新型コロナウイルスの影響や民間企業のワーケーションに対する認知度、価格設定の適正な基準を模索中なこともあり、企業の利用はあまり進んでいない。実証実験終了後の方向は現時点で決まっていないため、色々と検討していきたいと思う。

(松田メンバー) 今後について、方向性が決まっていなければ、コンパクトなメンバーで意見を出し合って企画できると良いと思う。

(2) メンバーの取り組みについて

○島メンバーから京浜急行電鉄（株）における三浦半島全体に対する取り組みについて説明があった。その説明に対し、次のような意見があった。

（出石アドバイザー）三浦半島全体の取り組みも大事だが、逗子に対してもぜひ注力いただきたい。

（島メンバー）逗子での活用できる土地が少ないことがネックとなっているため、先ほど話に挙げた空き家などの活用ができると良いと思う。

（松田メンバー）逗子の生活しやすい点などの強みや魅力を活用してもらえればと思う。

○三宅メンバーから今年度の商工会の入会者（男性42名、女性24名）について説明があった。

（出石アドバイザー）女性の入会者が多いことは、市の総合戦略にも掲げている女性の活躍に繋がっていると思う。

6 その他

○推進会議のメンバーの構成である「産業・経済、教育、金融、労働、言論・メディア等の関係者」のうち、「労働」のメンバーが欠けている状態であるため、その状態を解消するため、引続きメンバーの選定を進めると同時にメンバーへ「労働」のメンバーについて情報提供を依頼した。

○基本目標に対する意見については、事務局で取りまとめ整理し、アドバイザーに確認後、メンバーに確認することとした。

7 閉会